

## ① 「マネーの呪縛」から逃れられない宗教者

ビジネスの世界においても、創価学会の力はゆるぎないといわれている。本来、宗教にかかわる者がマネーにまみれているなど、とても考えられることではない。当然、よくないことだと思われ、どんな宗教でも末端に近いほどマネーにまみれていない気がする。

とにかく重要なことは、宗教者はすでに本分を忘れ、欲望のとりこであり、宗教者ほど醜い存在はいないという、ある意味においての矛盾が起きているということだ。

たとえば以下は、ゴールドマン・サックス証券の社報（二〇〇七年六月）に掲載された、池田大作名誉会長が個人筆頭株主の企業である（当時）。

- ・コナミマーケティング株式会社
- ・株式会社コナミスクール
- ・楽天株式会社
- ・楽天証券株式会社
- ・楽天トラベル株式会社
- ・ワイノット株式会社
- ・株式会社サイバード
- ・ギガフロップス株式会社
- ・株式会社ケイ・ラボラトリー
- ・ヤフー株式会社
- ・株式会社たびゲーター
- ・株式会社フライダルネット
- ・株式会社インディバル
- ・株式会社ネットラスト
- ・株式会社レインズインターナショナル
- ・株式会社アートフードインターナショナル
- ・レッドロブスタージャパン株式会社
- ・株式会社レインズフードレーベル
- ・株式会社コスト・イズ
- ・株式会社グッドウイル
- ・株式会社グッドウイル・エンジニアリング
- ・株式会社ソア
- ・株式会社コムスン
- ・株式会社ライブドア
- ・ネットアンドセキュリティ総研株式会社
- ・株式会社ライブドアモバイル
- ・株式会社テントラー・コミュニケーションズ
- ・株式会社ライブドアテレコム
- ・バリエークリックジャパン株式会社
- ・株式会社ライブドアファイナンス
- ・ビットキャッシュユ株式会社
- ・ウェブキャッシング・ドットコム株式会社
- ・株式会社ライブドアクレジット
- ・株式会社ライブドアファクタリング

- ・ ターボリナックス株式会社
- ・ 株式会社イーエックスマーケティング
- ・ 森ビル株式会社
- ・ フォレストオーバーシーズ株式会社
- ・ 六本木エネルギーサービス株式会社
- ・ ゴールドマン・サックス証券会社
- ・ ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
- ・ キャピタル・サーヴィシング債権回収株式会社
- ・ ビー・ピー・ジャパン株式会社
- ・ ソースネクスト株式会社
- ・ 株式会社アンダーナ
- ・ 株式会社カナフレックス
- ・ 株式会社OLC・ライツ・エンタテインメント
- ・ 株式会社サモンプロモーション
- ・ 株式会社トウインコミュニケーション
- ・ 株式会社M&Aコンサルティング
- ・ JVCエンタテインメント・ネットワークス株式会社
- ・ 株式会社J・WAVE

- ・ 株式会社プロシード
- ・ 株式会社フレッシュネス
- ・ 株式会社フードスコープ
- ・ 株式会社フアンドクリエーション
- ・ 株式会社ザ・サイドプラネット
- ・ 株式会社トライン
- ・ 株式会社ハーシー
- ・ 株式会社メディアオポート

これら株式の資産だけで、約六五〇〇億円にもなる。個人筆頭株主ということは、当然、発言力も相当なものだろう。

「99%の人に伝えたい この世界を変える方法」(内海聡) 2015.6.22

また、朝日新聞アエラ編集部『創価学会解剖』（朝日新聞社）によれば、以下は完全な創価学会系といえる企業である。数字は一九九六年時点の調査データである（帝国データバンクなど調べ）。

- ・日本図書輸送（運送）——『聖教新聞』などの輸送や引越など、年商一一三億円
- ・日栄倉庫（倉庫）——日本図書輸送の子会社で年商一一億円
- ・信濃施設管理（建物サービス）——学会会館の管理などで年商三六億円
- ・日光警備保障（警備保障）——学会会館の警備を主体に年商一六億円
- ・創造社（建築・土木・設計）——年商三六億円のうち創価学会関連が八〇％程度
- ・栄光建設（建築・工事）——学会施設の新築や補修を中心に年商二九億円
- ・シナノ企画（ビデオ製作）——学会行事のビデオ製作、グッズなどで年商五九億円
- ・東西哲学書院（書店・飲食店）——信濃町を中心に店舗展開し、年商九二億円
- ・潮出版社（出版・不動産）——月刊『潮』や池田大作の著作などで年商四五億円
- ・第三文明社（出版）——学会関係の出版物などで年商一〇億円
- ・鳳書院（書店・不動産）——大学図書館にも納品し、年商三八億円
- ・東弘（広告代理店）——『聖教新聞』の求人広告など、年商一九億円
- ・富士白蓮社（葬儀）——顧客の大半が創価学会員で年商一九億円

「99%の人に伝えたい この世界を変える方法」(大海豚) 2015.6.22

また『週刊現代』二〇〇五年三月二六日号には、この三〇年間の創価大学卒業者の就職先が掲載されている。以下は、同記事からの引用である。

まずは「公務員編」から見てみよう。

- ・防衛庁 二人
- ・総務省 一〇人
- ・法務省 一四人
- ・法務局 一三人
- ・検察庁 七人
- ・外務省 五〇人
- ・財務省 四人
- ・国税庁 四四人
- ・文部科学省 四人
- ・厚生労働省 九人
- ・経済産業省 一人
- ・国土交通省 二〇人
- ・海上保安庁 一人
- ・警察(地方) 六人
- ・裁判所 四九人
- ・都道府県職員 二八〇人
- ・市区町村職員 八二七人
- ・高校教師 一九七人
- ・中学校教師 五二〇人
- ・小学校教師 一四五四人

特筆すべきは、外務省、国税庁、裁判所に多数入っていることである。ちなみに、学会員の外務省職員で構成するグループを「大鳳会」と呼ぶらしい。

「99%の人に伝えたいこの世界を変える方法」(内海聡) 2015.6.22

次は「企業編」である。

- ・東京三菱銀行 七〇人
- ・三井住友銀行 七九人
- ・みずほFG 八〇人
- ・UFJ銀行 八一人
- ・りそなHD 六〇人

- ・大林組 三九人
- ・鹿島 三八人
- ・清水建設 二四人
- ・積水ハウス 五四人
- ・大成建設 三〇人
- ・大和ハウス工業 三〇人
- ・竹中工務店 一九人
- ・NEC 二一人
- ・NTT 四六人
- ・日本IBM 三三人
- ・光通信 二一人
- ・日立製作所 一七人
- ・富士通 一〇人
- ・松下電器産業 二五人
- ・パナソニックコミュニケーションズ 二八人
- ・三菱商事 三一人

- ・朝日新聞社 二人
- ・毎日新聞社 九人
- ・読売新聞社 四人
- ・産経新聞社 三人
- ・日経新聞社 六人
- ・NHK 三人
- ・大学職員(創価大除く) 一三九人

ここでは創価学会について取り上げたが、もちろん統一教会であれほかの宗教であれ、似たようなところがあると思われる。ぜひ自分でも調べていただきたい。

## 創価学会に「憲法」ができた意味

佐藤 いま私は、「公明党恐るべし」と言いましたけど、正確には「公明党の支援母体である創価学会が社会的な影響力を強めている」ということなんですね。憲法解釈の拡

大を阻止し、集団的自衛権の行使を一部に留める役割を果たしたのは、この公明党の支持母体の「平和主義」だったと言つて差し支えないでしょう。ですから、これから始まるであろう憲法改正の議論においても、その動向が大きな影響を与えることは間違いありません。ところで手嶋さん、そんな折も折、創価学会で大変な「出来事」が起きたのですよ。

手嶋 うーん、興味深いなあ。若い頃から神学を研究し、宗教学者の顔も持っている佐藤さんには、創価学会の教義に踏み込んで、その「出来事」の深層を教えてもらいたいと思います。さあ、存分にどうぞ。

佐藤 学会ウォッチャーも含めてほとんどの人がスルーしているのですが、創価学会に初めて「憲法」ができたのです。正式名称は「創価学会会憲」といいます。

手嶋 不思議ですが、これまでは「憲法」に当たるようなものは持っていなかったのですか。

佐藤 そうなんです。一七年の九月一日に原田稔会長が提案して、満場一致の賛成を得て、十一月十八日に施行されました。

手嶋 不覚にも知りませんでした。佐藤さんが「大変な『出来事』」というのですから、さぞ画期的なものなのでしょうね。

佐藤 要約すると、平和の教団、世界教団なんだと。もちろん国際組織であるSGI（創価学会インタナショナル）にも適用されて、名称も「日蓮世界宗創価学会」とする、とうたっているんですよ。

重要な部分を引用してみます。まず、平和主義の根底にある歴史認識はこうです。

「第二次世界大戦中、国家神道を奉ずる軍部政府に対して国家諫暁を叫ばれ、その結果、弾圧・投獄され、獄中にて逝去された。牧口先生は、『死身弘法』の精神を、自身の殉教によつて後世に遺されたのである」

鍵は、「国家神道は敵だ」ということです。それは軍部政府のイデオロギーに他ならないというわけなんです。こういう認識は、日本会議的な神道中心の組織や団体と、教義としてぶつかることになります。

実際の行動については、「牧口先生、戸田先生、池田先生の『三代会長』は、大聖人の御遺命である世界広宣流布を実現する使命を担つて出現された広宣流布の永遠の師匠である。（略）日本に発して、今や全世界に広がる創価学会は、すべてこの『学会精神』を体現したものである」と述べ、さらに「池田先生は、創価学会の本地と使命を

「独裁の享」（白崎龍一、佐藤優）2017.12.20

『日蓮世界宗創価学会』と揮毫されて、創価学会が日蓮大聖人の仏法を唯一世界に広宣流布しゆく仏意仏勅の教団であることを明示された。そして、23世紀までの世界広宣流布を展望されるとともに、信濃町を『世界総本部』とする壮大な構想を示され、その実現を代々の会長を中心とする世界の弟子に託された」としています。

要するに、彼らは二十世紀までのロードマップを持つているわけです。いままで、こんなことは言っていませんでした。この「創価学会会憲」に、今後創価学会は拘束されることとなります。当然、公明党も、これに反する方向に行けません。

手嶋 こうしてみると、公明党の支持母体である創価学会は、政治的なスタンスが、希望の党などとはかなり違うのですね。

佐藤 率直にいうと、いまの日本の政治状況からすれば、ものすごい「平和ベクトル」「左ベクトル」になるんですよ。そういう「創価学会会憲」をこのタイミングで作ったわけです。

手嶋 なぜ、「世界教団」の方向に舵を切ったのか。東アジアの政局が、そこに反映されているということなのですか。「世界宗教」の主な標的は、膨大な潜在的な信者を擁する東アジア、とりわけ、台湾、中国大陸の沿岸部、香港に至るベルト地帯と考えていいですね。

佐藤 そう。中国では布教が禁止されていますが、いまでも一国二制度の関係で香港とマカオでは、SGIの活動は認められていますからね。

手嶋 香港とマカオでの活動が認められているという、じつはそれは伏線で、すでにメインランド・チャイナについても、カトリックと同じようなかたちで進出を開始しているとみていいのでしょうか。カトリックも中国では、当初は「二重カトリック教会」のような変則で徐々に定着していききましたから。

佐藤 私が聞いた範囲では、広州あたりから香港に出張して働いている人たちがいますよね。その人たちがSGIメンバーになった場合には、仏壇や本尊を持って本国に帰って拜むことは黙認されているそうです。さらに、北京大学をはじめ、あちこちに池田思想研究所があつて、池田大作SGI会長の思想を研究しているんですよ。ですから、これからいろんな変化が起こっていく可能性はあると思います。

さて、そんなふうに創価学会が世界宗教化していく。しかも布教のメインターゲットは、ズバリ中国です。また、台湾と韓国にSGIは拠点を持つている。そうすると、その二つの国と一つの地域との関係を緊張させる方向のベクトルには、創価学会としては

まったく働かないこととなります。そういうベースに則つて、公明党が動く。その意味するところも、明らかでしょう。日本の憲法改正は、やはり簡単な話ではないのです。

手嶋 そんな創価学会の変貌ぶりを無視したまま、安倍自民党が「憲法改正」に突き進めば、自民・公明の政権与党の連携に重大な亀裂が入る恐れがあります。

佐藤 それも辟さずで、議席の足し算をするのは可能でしょう。でも、その場合に、「ではわが党の二、三万票は引きあげて、他に流します」という話になったら、新自由主義化した自民党は耐えられるでしょうか。

「独裁の夏」(手嶋龍一、佐藤優) 2017.12.20

## ケネディ対ニクソン、「二重忠誠」の戦い

手嶋 今後の「憲法改正」をめぐる政局の鍵を握る創価学会にそれほど重大な変化が起こりつつあると聞いて驚きました。当の学会の上層部のほかには、その意味を分かっている人はほとんどいないのではないのでしょうか。やはり、宗教が政治・社会に与える影響に僕たちはもつと鋭敏であるべきですね。

チャタムハウスを訪れた話はすでにしましたが、その時に「キエー・パレス」で晩餐会が催され、僕の隣は、エリカ・バッフエット博士というイタリア人宗教学者でした。イギリスのバーミンガム大学で教鞭をとっているのですが、彼女の専門は日本のニュー・レリジョンでした。「あなた方ジャーナリストは、東アジア社会で中国の宗教が周辺国にいかの影響を与えたか、いま少し真剣に分析したほうがいいでしょう」と諭されてしまいました。

佐藤 それは確かに大切な指摘だと思います。

手嶋 様々な宗教が中国を経由して日本に伝えられ、独自の進化を遂げていったのですが、創価学会のような、日本の宗教が、ユニバーサルな存在に変貌を遂げて、東アジアの沿岸ベルト地帯に広がっていくケースは、これまでにあまり見られなかった現象ですね。

佐藤 たぶん、初めてのケースだと思います。

手嶋 日本列島はいわば世界の果て、極東の最東端にあるという地理的な制約もあって、日本初の思想が普遍主義的な原理となつて、全世界に広がっていくことは稀でした。アメリカの経済学史の学者から「布教の経験が乏しかったため、日本は自らグローバル・スタンダードを創り出すことが不得意だったと指摘されて、そうかと唖つたことがあります。ビデオテープの世界基準をめぐる「VHS・ベータマックス戦争」で、当時日の出の勢いだつたソニーが敗れ去つたのは、そのゆえだつたというのです。

佐藤 これは電子機器に限ったことではありません。「オリンピック競技のルール」も、銀行の自己資本比率をめぐる「BIS規制」も、結局、欧米のしたたかな連中にしてやられているのが実情です。

手嶋 そうなのです。日本は普遍的なグローバル・スタンダードを創り出すのが不得手なのですが、新たな憲法を持った創価学会がこの壁を乗り越えることができるのか、興味深いですね。ただ、「本格的に東アジアに出るぞ」ということになると、国家主権の枠組みを超えてしまう。創価学会は宗教団体ですから何とか折り合いがつくかもしれませんが、公明党は日本の政党ですから、従来の主権国家の則に収まるのか、ここが問題ですね。

佐藤 そうなのです。「二重忠誠」の部分が当然出てくるので、それで起こる問題を避けるために、「会憲」の第一一条の四項で、「SGIならびに構成団体および会員は、その活動の推進に当たっては、各国・地域の法令を遵守し、また、随方毘尼の精神を踏まえ、文化および風習を尊重する」と述べているんですよ。その国の法令を遵守せよと強

「独裁の宴」(手嶋龍一、佐藤俊) 2017.12.20



調しています。

手嶋 ただ、わざわざそう言わざるをえないのは、本質的に国家主権の則を超えているからでしょう。イデオロギーに国境はありません。

二重忠誠の問題を戦後の日本は軽く見る向きがあります。しかし、アメリカという世界初の堅牢な「人工国家」でも、一九六〇年にいたつてもなお、リチャード・ニクソン対ジョン・F・ケネディの一騎打ちの大統領選挙で、「二重忠誠」は最大の争点になりました。カトリック教徒であるケネディは、バチカンに究極の忠誠を誓うのか、それとも合衆国か、と真剣に議論されたのでした。ローマ法王の指示があれば、アメリカ大統領といえども、従わなくてはならないのでは——と詰め寄られたのでした。

佐藤 その時、ニクソンが偉大だったのは、カトリック問題をイシューにせず、フェアな戦いをやったことです。だから先につながって、六八年には大統領選に勝利するわけです。まあ、自分はそれでも勝つことができるだろうという、自信もあつたんだと思いますけど。

ただし、アメリカの歴代大統領全員のリストを並べてみると、なんとカトリックはケネディ一人なんですね。建国からずっとです。手嶋さんがおっしゃるように、それぐらい二重忠誠の問題は重いわけです。

手嶋 バチカンへの忠誠と、アメリカ合衆国への忠誠。その時に本当に合衆国への忠誠を誓って、ケネディ候補は、合衆国大統領への道を決かなものにしたのでした。

佐藤 普通の人は気づかないけれど、この問題は、日本にもあることはあるのです。例えば、森友学園問題。大阪府の補助金を騙し取ったなどとして詐欺罪で、森友学園前理事長の籠池泰典氏と妻の諄子氏が逮捕、起訴されましたが、籠池さんは、神道教育の小学校をつくらうとしました。その時に「神道は宗教ではありません」と彼は言ったわけです。

じつは、これは戦前の国家神道の考え方で、「臣民の慣習であるから、どんな宗教を信じていようとも神社を参拝しなさい」という理屈なんですね。しかし、あの籠池発言には、批判が生じなかつたでしょう。本当は、これは憲法にも違反しているし、「教育基本法」にも違反しているし、とんでもない言説のはずなのです。それが、みんなのなかにすつと入ってしまった。でも、プロテスタントのクリスチャンや、創価学会員は、そのあたりに非常に敏感にならざるをえないんですよ。

面白いことに、カトリックはそこがクリアできてしまっているのです。じつは、戦前に暁星中学と上智大学の学生が靖国神社に参拝しないで、大問題になったことがあるのです。その時に、バチカンの裁定を仰いだら、「構わない。これは民族の慣習だ」と。だからカトリックの人は、曾野綾子さんにしても渡部昇一さんにしても、何の抵抗感もなくそのへんを一緒にできるわけですね。それは、教義において絶対に誤らないバチカンが、「大丈夫だ」と戦前に宣言しているからなのです。

手嶋 宗教と政治のせめぎあいには、壮大なドラマを内包しているのですね。

佐藤 そう、宗教とは、かくも面白いのです。